

えんちょう先生の わくわくだより

H29. 5. 18 NO. 5

もうすぐやってくる遠足を楽しみに、「みんなで遠足」の集団遊びを楽しみました。みんなが元気に歌をうたいながら歩いていると、赤鬼やオオカミや死神が出てくるんだ！大慌てで、陣地に逃げ込むみんなだったね。ぶつからないように逃げ回る遊びは、体と共に視力の発達も促す大事な遊びです。ちょっと転んでもすぐに起き上がって走ったみんなだったね。

♪
そらははれーて
いーいんぎ
きょうはほくらちの
えんそくだー♪



こんなおもちゃの取り合
いも遊びの勉強です



恐竜は人気者！

ぶつかりながら、こどもは育つ！

こども達は、新しい集団生活、又、ひとつ大きくなったクラスの中で、友達や先生にも慣れ、自分のやりたい遊びを見つけながら、楽しめるようになってきています。今の年長さんが年少さんだった二年前からこども園、指定管理園として出発した三年目の岩村こども園です。「乳幼児期のこどもの育ちには、遊びが大事！」を目標に進めてきた二年間でした。その二年間を職員で振り返り、今年度につなげていきたいと思えます。「こどもの遊びとは何か？」「遊びの何が大事なのか？」「どう遊ばせていく事が大事なのか？」「その為の環境はどうか？」「遊びの中で、どんな力が育つのか？」「こどものつながり方の援助は？」・・・一口にあそびと言っても、難しい課題がいっぱいです。こども達が元気に動いて遊べば、遊ぶほど、友達同士のトラブルも多くなってきます。そんな時は、すぐに大人が出て行って簡単に「ごめんね」で終わらせてしまわない様に、こども達がなるべく自分達の力で解決出来る様に促していきませんが、こども達自身で解決が難しい場合には大人が手伝います。そんな時、大事にしている事は、

- ①その時の気持ちを受け止め共感する事（そうか、いやだったね～）（痛かったんだ～）
- ②その理由を聞く事（どうしていやだったの？）（何が嫌だったの？）
- ③どうしたらよかったかを一緒に考える事（叩く事はいかんね 口でいえばよかったね）
- ④相手に伝える もしくは保育者が代弁する
- ⑤お互いが、どうすればよかったかをわかり合う

この様に発達に応じて、順序立ててこどもの気持ちを受け止めながら、解決の仕方を知っていく中で、同じ様な事が起こった時、だんだん自分達で解決が出来るようになっていきます。こども達にとってトラブルの場面は、こども達が、人とかかわる力を発達させていく重要な機会でもありますから、こどもの成長過程の栄養剤と思って、暖かく見守って頂きたいと思えます。いっぱい遊んで、ぶつかりながら、子どもは育っていくものです。

(5/17日) 今日みんなで、トマトの苗植え ピーナッツの種も撒いた

年少組



重い土も先生といっしょに。

これからピーナッツの種を撒くよ



年中組



先生が4本の苗を植える所を真剣に見ていたね



年長さんも苗植えの準備です

(5/16) 年長組の先生が「今日、年中組のNちゃんとAちゃんが、ゼーんぶのプランターの水をやり続けてくれたんだよ。ふ～と言いながら何回も水を汲んで・・・」と話してくれました。朝の園庭は、それぞれの遊びに動き回る子ども達の姿がいっぱい。年長さんがドッジボールをしている間は、小さい年少さんに、スクーターや二輪車が回ってきて、ぎこちなく練習を始める姿や年長さんのまねをして、フラフープ回しに挑戦する子もいます。ブランコには、必ず先生がつきながら、時には元気な歌をうたいながらこぐ子ども達。鉄棒では、前回りや、豚の丸焼きをやって楽しむ子、サッカーゴールに向かってボールを蹴る年中さんや砂場で、鍋に草をまぜながら「シチュー」を作っている異年齢の女の子集団も楽しそう。先生が並べてくれた△棒を跳ぶ子やわたる子、バケツや手押し車に、水をいっぱい入れて慎重に運ぶ子、園庭の隅でダンゴ虫捜しに夢中な子、職員室前の「えほんコーナー」前で、図鑑を開く子・・・子ども達の朝は、極力子ども達の意思で遊びを選び、やりたい遊びをみつけて楽しんでほしいと先生達は願っています。朝のひと遊びは、子ども達の一日のやる気を出させる大事な時間となります。元気にあそべ！と応援しながら。

ボエム

♡たんぽぽ

「たんぽぽさんち

まぶしのね。

ひまわりさんの子で

お日さまの まごだか

ら。」

と、ちゅうちが

きいた。

たんぽぽさんは、

うふんとわらった。

まごみちあ

